

2005年3月期の経営施策

2004年5月18日

取締役社長 関 誠夫



千代田化工建設株式会社

目次

- 2005年3月期の位置づけ
- 今期の経営重点目標テーマ
- 中長期的発展に向けた経営課題の位置づけ
- P L E (Plant Lifecycle Engineering) とグループ一体運営について
- 当面の収益基盤となるマーケット状況と対応
- まとめ

1. 2005年3月期の位置づけ

- 1) プロジェクト・スーパーX (PSX) 推進の中で、2006年3月期の完了を目指した「新再建計画」の前倒し達成が確実となった。

累積損失解消1年前倒し

復配の実行

課題の仕上げ： 経営重点目標を実行

- 2) 中長期的な発展を目指して、新規経営計画の策定・始動

2. 今期の経営重点目標テーマ

視点	経営重点目標	アクションプラン
財務	収益力の安定化	総合予算制度活用
顧客	顧客との永続的關係構築	顧客満足度の一層の向上
業務 プロセス	技術力・競争力強化	PLE/グループ一体運営の強化
	リスク管理の徹底	Smart EPC の推進
人材と 変革	人材育成・適正配置	キャリア開発制度、成功支援

✓ 各部署間、グループ企業での目標管理の精緻化

✓ コーポレートとしての顧客満足度分析・フォローアップ

✓ プロジェクト・オーディットの強化

✓ 工事管理力強化 (工事ITの強化)

✓ 調達力強化

✓ エンジニアリング技術力強化 (LCEの活用)

➤ 経営管理力の深化

- バランス・スコアカード(BSC)による目標の計数化促進。
- 全社 部署 個人にBSCにより目標を落とし込み。

PLE: Plant Lifecycle Engineering

LCE: Low Cost Engineering Center

3. 中長期的発展に向けた経営課題の位置づけ

Business Innovation

世界で最も信頼性の高いプロジェクトカンパニー ポジションの確立・発展へ

最速・高効率・
高品質サービスの提供

高度技術の
融合化

エクセレントカンパニー

天然ガス・
ガス化学分野

石油・石化分野

ファイン
インダストリー分野

エネルギー
環境保全分野

...

...

PLE
(Plant Lifecycle Engineering)

アセット・マネジメント

強力な
経営管理力

完璧なリスク管理、
計数管理力

融合!

高付加価値ビジネス
の融合化

競争優位性
獲得!

EPC

千代田

LNGプラント

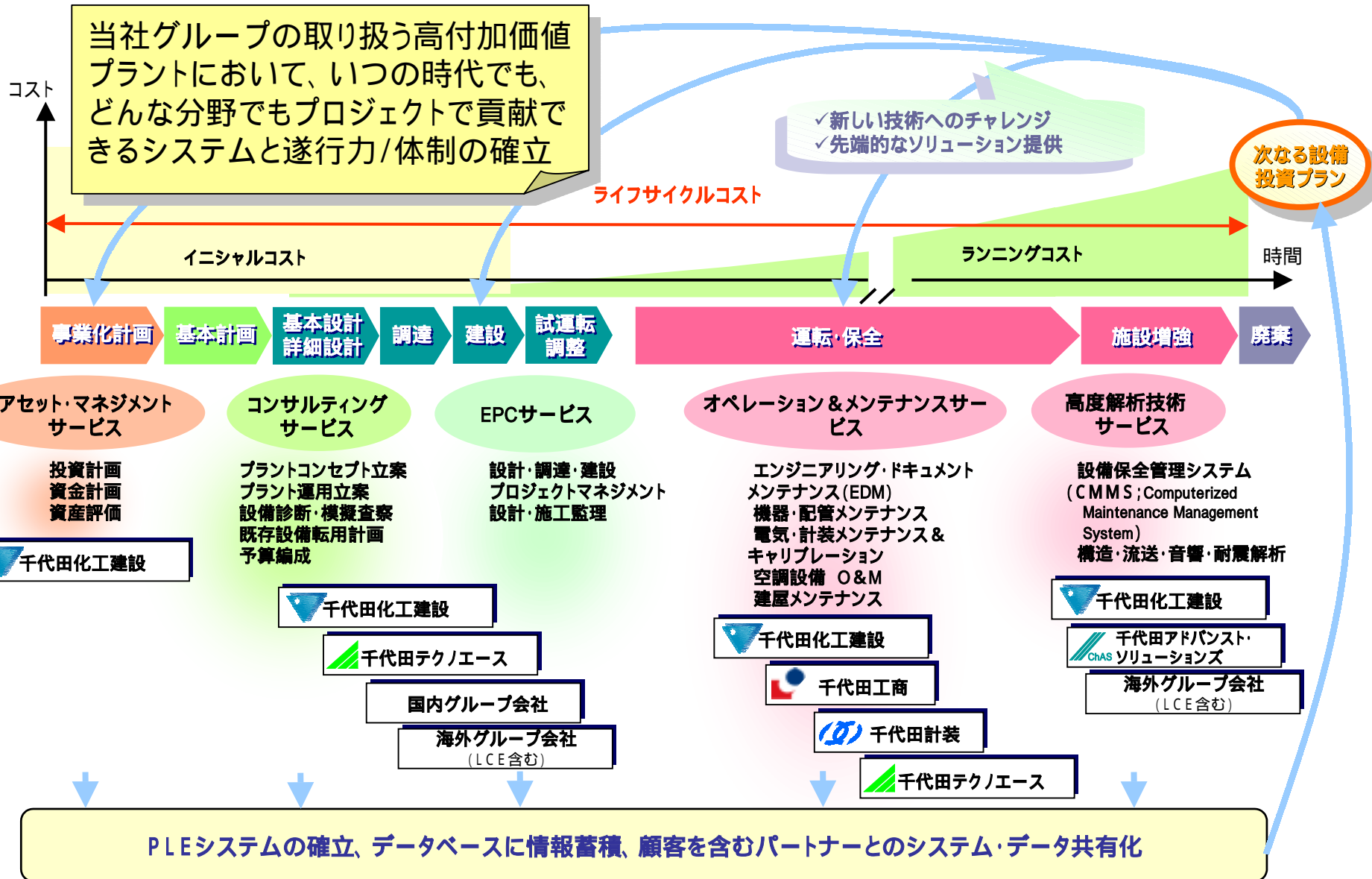
カッティングエッジ・テクノロジー
(複雑化・大型化対応)

(上流・下流領域拡大)

卓越したIT技術、
工事管理力の深化

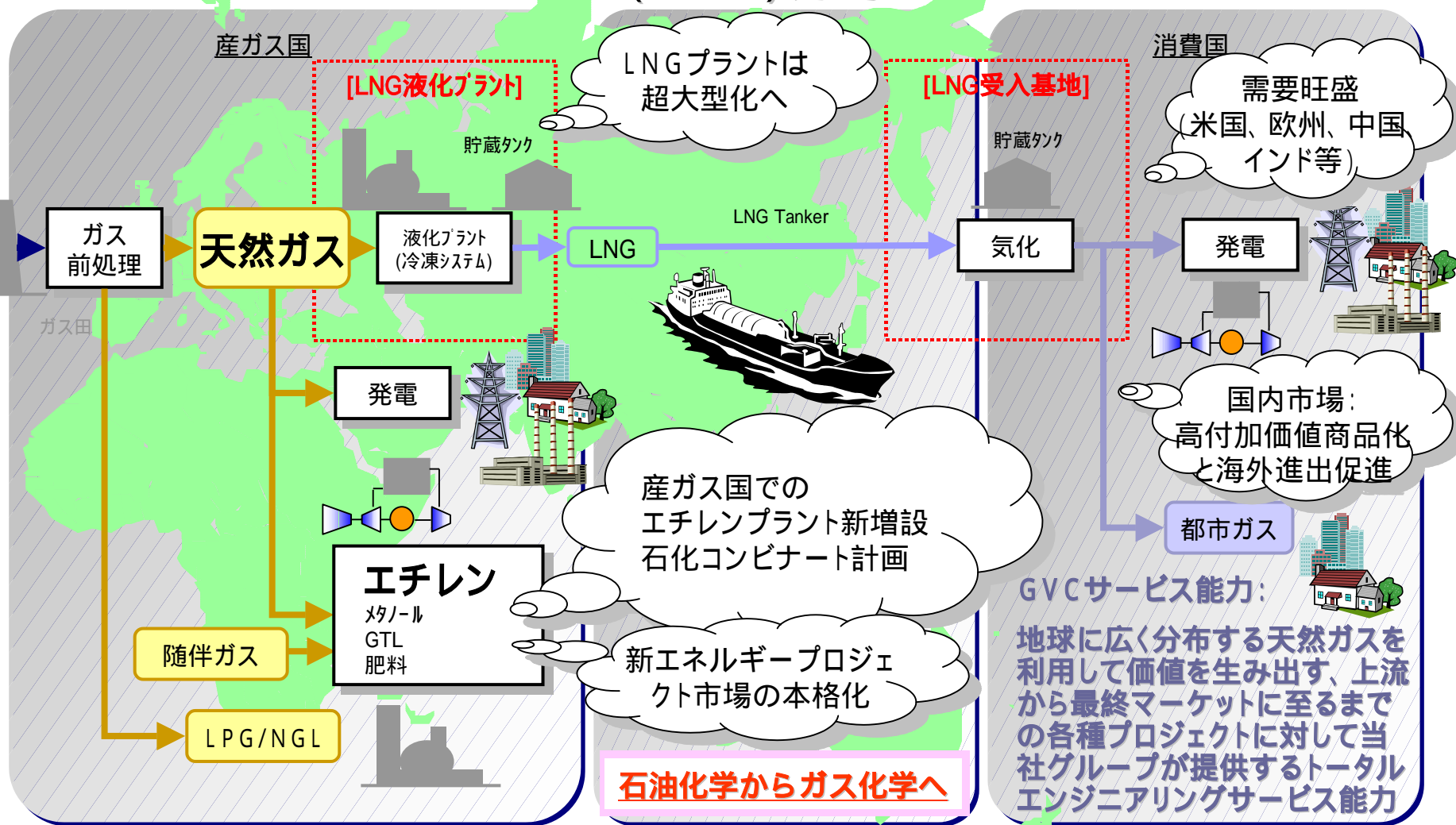
Technology
Innovation

4. PLEとグループ一体運営について



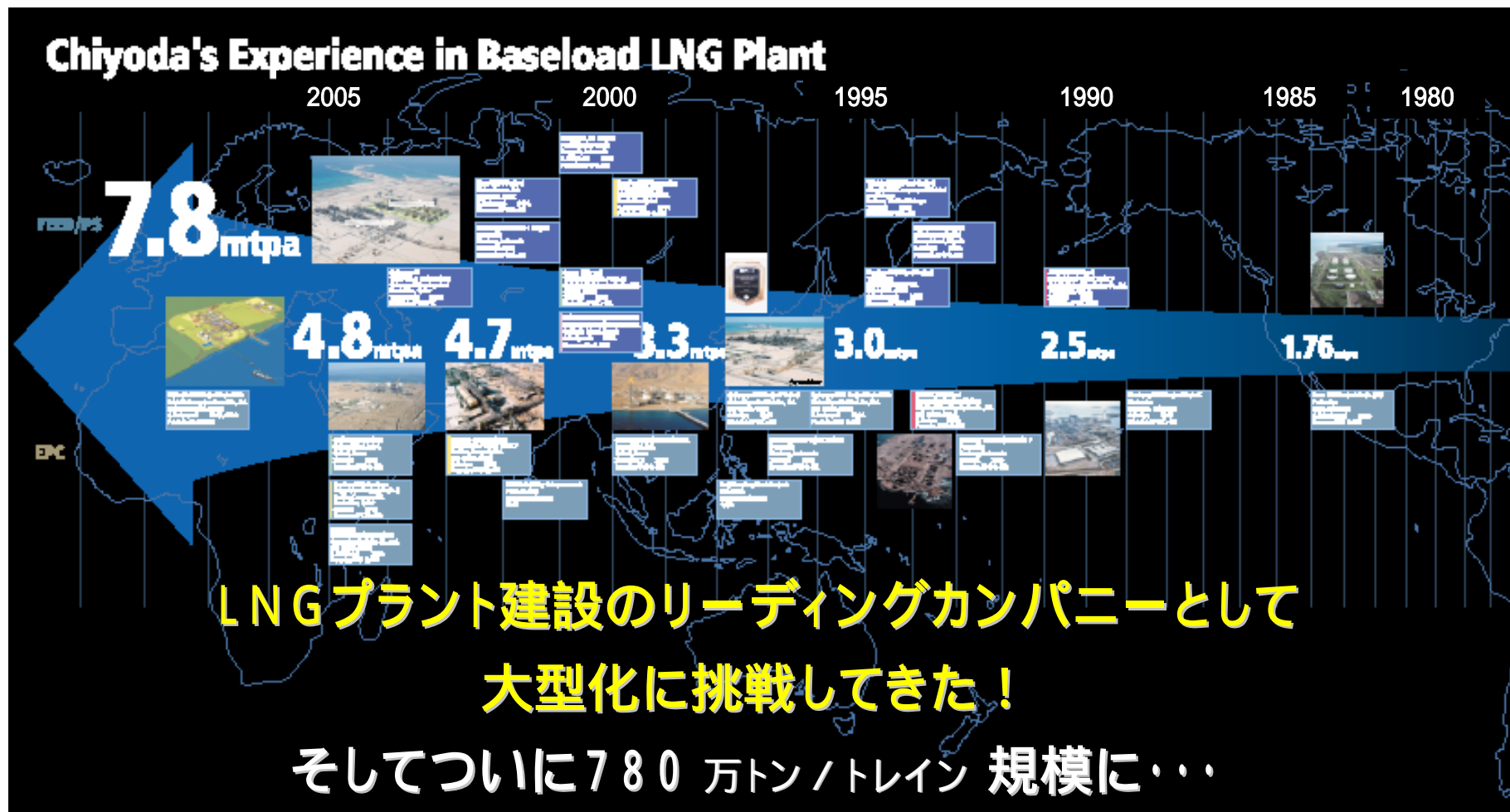
5.1 当面の収益基盤となるマーケット状況と対応 (ガスシフトの加速)

▶ ガス・ヴァリューチェーン (GVC) 分野



5.1 当面の収益基盤となるマーケット状況と対応 (海外)

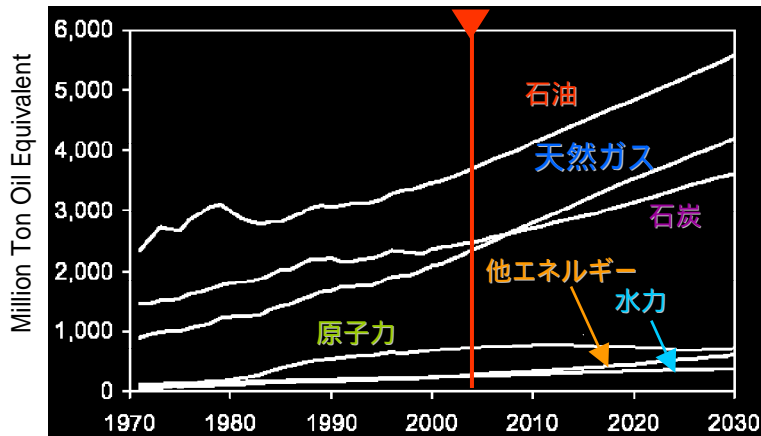
▶ 豊富な千代田のLNGプラント建設実績



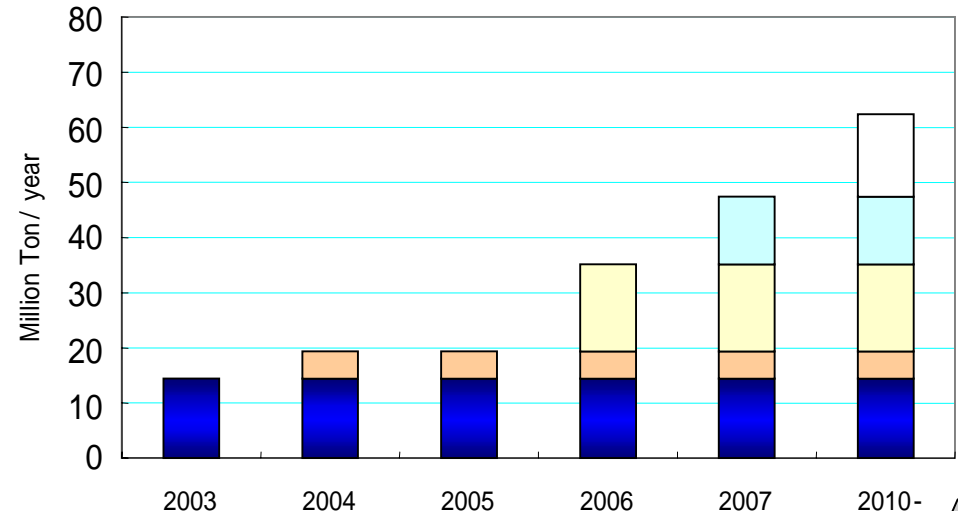
5.1 当面の収益基盤となるマーケット状況と対応 (海外)

- LNG 14 (2004年3月 Doha, Qatar) で天然ガス利用計画発表
 Exxon Mobil : 今後20年間、全エネルギー成長の1/3はガスにシフト
 Shell、BP、Chevron: 続々とLNG計画発表
 カタール: 2010年までに6,000 万ト/年 以上のLNG輸出計画発表
 GTL計画 (Sasol-Chevron、Shell 等)

世界の一次エネルギー総供給の推移と予測



カタール国でのLNG 輸出計画



出典: I E A (International Energy Agency)

5.2 当面の収益基盤となるマーケット状況と対応 (国内:顧客の変化をとらえ)

▶ エネルギー・環境分野

- ▶ 国内の石油・電力・ガス会社によるクリーンエネルギーへの投資意欲は旺盛。
- ▶ エネルギー・化学一体化促進によるプロジェクト市場拡大。

▶ ファインインダストリー分野

- ▶ 電子材料・医薬品・特殊化学品等の付加価値の高いプロセスプラントへの集中化。

▶ 新エネルギー分野

- ▶ 国産GTL(ガス・ツウ・リキッド)開発・水素エネルギーへの対応、ピンチテクノロジー技術を用いたコンビナート全体の省エネルギー事業への貢献等、今後の成長分野にも果敢に取り組む。

▶ 国内顧客の海外展開への貢献を強化。

6. まとめ

- ▶ 決算は、継続して増収増益見込み。
- ▶ 次のステップに向け新規経営計画を策定・始動
- ▶ 世界で最も信頼性の高いプロジェクトカンパニーポジションを確立・発展し、いつの時代でも、どんな分野でもプロジェクトで貢献できるシステムと遂行力／体制を備えたエクセレントカンパニーへ。
- ▶ 企業の社会的責任(CSR)への取組み・対応を合わせて強化・・・高い人格を備えた企業を目指す。

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

広報室長兼IRマネージャー 村田 卓弘

IR Manager Takuhiro Murata

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

携帯 090-3348-3484

e-Mail [tamurata@ykh.chiyoda.co.jp](mailto:tamura@ykh.chiyoda.co.jp)

URL <http://www.chiyoda-corp.com/>

この資料には、2004年5月18日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。